

**創立80年を超えて、
新しい千歳丘高校を築き、
新しい時代を拓く人材の育成に取り組む。**

教育目標と目指す学校像			
教育目標	「高志」 目標を高く掲げ、自ら学び考え行動し、夢を実現する、個性と創造力豊かな人間を育成する。		
	「自律」 規範意識を持ち、よりよい生き方を求めて進んで実行する、心身共に健やかな人間を育成する。		
	「信頼」 人権尊重を基調とした信頼関係を大切にする、社会に貢献する人間を育成する。		
目指す学校像	「高志」、「自律」、「信頼」の心を育み、生徒の自己実現を図る学校を目指す。校歌にある「撓まず学び、心を磨き、身を錬へ、友を助ける」を標語とする。目指す学校像の詳細は下記(1)～(6)に示す。		
	(1) 探究型の学習により学ぶ意欲を引き出し、確かな学力を身につけさせ、より高い目標を設定して変化する社会の中でたくましく生き抜き、自己実現を果たせる人間を育てる学校		
	(2) 人権尊重の理念を基盤に全教職員が自発性と創造性を発揮し、きめ細かい学習指導、生活指導、進路指導、特別活動を推進し、教育活動全体の充実を目指す学校		
	(3) 生命を尊重し、「いじめ」や自殺などの根絶に向けて、他者を思いやる心を育む学校		
	(4) 基本的な生活習慣や社会規範を身につけ、地域社会からの信頼や期待に応え、地域や社会と協働できる良識ある人材を育てる学校		
	(5) 東京2020オリンピック・パラリンピック大会以降のレガシー構築に貢献できる心を育む学校		
	(6) 日々の教育活動の改善・充実によって、生徒の満足感、保護者の安心感、地域の信頼感、教職員の充実感が高い学校		
観点	中期的目標と方策 (方策)	今年度の取組目標と方策 (方策)	今年度の重点目標 関連する数値目標 (昨年度実績数値)
1 学校全体	(1)組織的な教育活動の推進(教育目標の十分な理解、学校経営計画に基づいた分掌・学年の連携・協力) (2)企画調整会議の機能維持と全教職員の経営参画意識向上 (学校経営計画の理解浸透と意見聴取の双方向性) (3)服務規律の遵守と体罰防止 (日常的な指導と研修の実施)	①分掌・学年の指導目標の共通理解(指導目標の見える化) ②迅速な情報共有と方策の検討・提示(報・連・相の徹底と早期対応、主幹教諭と主任教諭の経営参画意識向上) ③服務事故防止研修の実施 ④ライフワークバランスへの配慮 ⑤ペーパーレス化を図り、業務短縮、資源削減をする。	ア)指導目標の共通理解による組織的な取組みを実践する。 イ)生徒の学校生活充実度75%以上 (67%⇒83%) ウ)服務事故0を目指す。(服務事故防止研修を学期に1回以上実施) エ)月間超過勤務時間80時間超の教職員0を目指す。

<p style="text-align: center;">2 学習指導</p>	<p>(1)学力の確実な定着 (学力スタンダードに基づく学習目標の明示と組織的・効果的な学習指導)</p> <p>(2)生徒の主体性を引き出し、学習成果を実感できる授業の開発(教員の人材育成と授業改善)</p> <p>(3)読書活動の推進(学校図書館の有効活用)</p>	<p>①組織的な教科指導や人材育成(教科会の定期的な開催や教科主任会議の開催)</p> <p>②生徒の学力定着に向けた学習指導の改善(教育改革対策委員会を中心に、各教科の学力スタンダードの作成及び学力調査の実施と結果分析)</p> <p>③基礎学力の向上と発展的な学力の養成(補習・補講の実施)(東京農業大学教職課程との連携)</p> <p>④数学や英語の学力定着と向上(学力向上研究校事業の活用)</p> <p>⑤学習環境の充実(合理的配慮とユニバーサルデザイン)</p> <p>⑥大学受験に対応できる学習支援(同窓会の支援)</p> <p>⑦オンライン学習システムの活用(一人1台端末の活用・オンライン学習デー)</p> <p>⑧図書館利用の奨励</p>	<p>ア) 学習指導を組織的に実践する。</p> <p>イ) 習熟度別と少人数によるきめ細かい授業を行う。</p> <p>ウ) 放課後や長期休業中の補習で基礎力定着を図り、補講では発展学習で学力向上を目指す。</p> <p>エ) 東京農業大学教職課程等との連携も検討しながら、支援の要請とその方法を検討し実行する。</p> <p>オ) 授業改善に対する肯定的回答 70%以上 (67.3%⇒57%)</p> <p>カ) 予備校と連携した土曜講習や長期休業中の講習を実施する。土曜講習 23～26 回、長期休業中の講習の参加生徒数延べ 1.300 名</p> <p>キ) 新型コロナウイルス感染症への対応も視野に入れ、オンライン学習システムによる課題提供など、自学自習の環境をつくる。</p> <p>ク) 図書館を利用した調べ学習やビブリオバトルの実施を検討する。</p>
<p style="text-align: center;">3 進路指導</p>	<p>(1)自己実現を図る力の育成(キャリア教育年間指導計画に基づいた計画的な進路指導とより高い目標設定)</p> <p>(2)進路情報の効果的な提供(進路情報や進路資料の整備と説明会の実施)</p>	<p>①生徒の進路希望の実現(3年間を見通したキャリア教育年間指導計画の作成)</p> <p>②効果的な進路指導の実践(学年・進路指導部・教科による生徒情報の共有)</p> <p>③国公立大学への進学対策の模索</p>	<p>ア) 進路指導部と各学年及び教科が一体となった(進路活動は団体戦)キャリア教育を推進する。</p> <p>イ) 進路指導に対する肯定的回答 70%以上 (62.3%⇒76.7%)</p> <p>ウ) 大学・短期大学への進学率 45%以上 (45.3%⇒49.2%)</p> <p>エ) 進路決定率 90%以上 (84.6%⇒87.3%)</p> <p>オ) ポートフォリオの作成にあたり Teams を活用する。</p> <p>カ) 国公立大学への受験に挑戦。進学 1 名以上。</p>

<p>4 生活指導</p>	<p>(1)基本的な生活習慣及び規律と秩序ある学校生活の確立 (身に付けさせる規律・規範に関する全体計画に基づく具体的な指導内容・指導方針の設定と共通理解)</p> <p>(2)いじめのない学校づくり(観察・指導・面談)</p> <p>(3)人権尊重の精神と思いやりの心、自主性や自律性の育成及び学校生活への意欲や帰属意識の醸成(特別活動の充実と強化)</p>	<p>①規律ある授業と基本的な生活習慣を確立(生活指導方針の共有と校則遵守の指導)</p> <p>②問題行動の未然防止(早期発見・早期対応)(SNS使用に関する指導強化)</p> <p>③部活動の適切な運営(組織的な体罰の防止)</p> <p>④安全教育推進校としての取り組み(2年間)を生かした生活指導の実施</p> <p>⑤整理・整頓・清掃(3S)の推進</p>	<p>ア)朝の校門の立ち番指導や校内巡回指導を実施する。</p> <p>イ)些細なことを見逃さない生徒指導と情報共有を行う。</p> <p>ウ)個に応じた指導(納得させる指導)の強化と特別指導の見直しを行う。</p> <p>エ)身に付けさせる規律・規範5項目の指導を徹底する。</p> <p>①制服をきちんと着用し、適切な身だしなみを心がける。髪の毛の染色・化粧・ピアス等の装飾品を身に付けることを禁止する。</p> <p>②挨拶をきちんとし、人の話を丁寧に聞く。</p> <p>③遅刻や欠席をさせず、チャイムで授業開始。遅刻数1日1クラス当たり1.5人以下(2.4人⇒2.9人)</p> <p>④授業規律を守り、授業に集中する態度を身に付ける。</p> <p>⑤自転車通学<保険未加入者0、ヘルメット着用の推奨>や公共交通機関利用時のマナーを守る。PTAの協力のもと、登校安全運動週間を設定する。</p> <p>オ)生活指導の肯定的回答70%以上 (63%⇒76.3%)</p> <p>カ)整理・整頓・清掃の指導を徹底する。</p> <p>キ)SNSの使用に関する指導を強化する。</p>
<p>5 特別活動</p>	<p>(1)人権尊重の精神と思いやりの心、自主性や自律性の育成(特別活動の充実と強化)</p> <p>(2)学校生活への意欲や帰属意識の醸成(部活動推進)</p>	<p>①自主性と創造性の育成(学校行事に主体的に関わる態度の育成)</p> <p>②部活動全体の推進(文化・スポーツ等特別推薦の活用、近隣小中学校との連携、情報発信)</p>	<p>ア)有意義な学校生活を目指し、一人一役を奨励する。(部活動・生徒会・委員会いずれかへの所属)</p> <p>イ)部活動加入率・委員会参加率向上を図る。60%以上を目指す。 (部活動加入率49.2%⇒51%)</p> <p>ウ)文化祭の満足度70%以上(58.0%⇒84.3%)</p> <p>エ)体育祭の満足度70%以上(65.0%⇒83.3%)</p>

<p>6 募集対策・広報活</p>	<p>(1)本校を第一志望とする意欲旺盛な生徒の獲得（広報活動の充実と小中学校との交流促進）</p>	<p>①組織的な募集対策活動、学校説明会、中学校訪問、出前授業等の推進(募集対策委員会を中心とした組織的な対応) ②広報活動の推進(近隣小中学校との連携強化とHPの充実)</p>	<p>ア) タイムリーな生徒活動状況の発信 イ) HP更新目標回数 35回 ウ) 学校説明会への総参加者数 1,500名以上 (1,440名⇒約1,200名) エ) 学力に基づく選抜の倍率 1.2倍以上 (0.96⇒1.06:実質0.995)</p>
<p>7 健康づくり</p>	<p>(1)生徒の体力や気力の向上と健康を保持・増進できる態度や能力の向上（健康教育の推進） (1) 生徒一人一人の個に応じた教育の実践（教育相談体制の整備と特別支援教育の推進）</p>	<p>①健康の保持増進と健康的な生活習慣の確立 ②より充実した教育相談体制の確立</p>	<p>ア) 保健部を中心に生徒の健康の保持増進を推進する。 イ) 都のがん教育推進に則り、保健講話（2年対象）を実施する。 ウ) スクールカウンセラーと連携して生徒指導にあたる。 エ) SC情報交換会を有効に活用する。</p>
<p>8 委員会等</p>	<p>(1)生徒がよりよい生き方を主体的に模索できる能力の育成 (2)国際理解教育と平和教育の推進及び国際社会の中で活躍できる人材の育成 (3)国際理解や我が国の伝統・文化への理解推進</p>	<p>①総合的な探究の時間の有効活用 ②台湾修学旅行の継続と海外学校間交流推進校としての姉妹校 ③オリ・パラレガシー教育の実施</p>	<p>ア) 道徳性を涵養し、判断基準（価値観）を高める。地域と連携して生徒を育成する。 イ) 海外修学旅行は実施の可能性を追求する姿勢で検討する。 ウ) 生活指導部を中心に指導を継続する。</p>
<p>9 経営企画室・そ</p>	<p>(1)経営参画型経営企画室の実現 (2)施設・設備の適切な管理による教育活動の円滑な実施</p>	<p>①予算編成指針に基づく予算編成と執行管理、学事と環境整備等の適切な実施 ②施設・設備の不具合等の是正（影響度が最小限となる支援と安全性の確保）</p>	<p>ア) 適切な執行管理により、センター執行率を60%以上にする。一般需用費の執行率98%以上を目指す。 イ) 施設・設備をフルに活用し、安全面に配慮しながら体力向上を図る。</p>